

求職者マニュアル

はたらく
ふるさと交通で傍楽のために…



株式会社 ふるさと交通

事業内容

■ ふるさと交通では、以下の事業を展開しております。

- 一般乗用旅客自動車運送事業
(タクシー・ハイヤー)
- 一般貸切旅客自動車運送事業
(貸切バス)
- 自家用自動車管理業
(公用車等車両運行管理)
- 特定計量器修理事業
(タクシーメーター機取付)
- 旅行業
(旅行プラン／ツアー作成)



タクシー・ハイヤー／バス事業と ふるさと交通

■タクシー・ハイヤー事業

みなさんご存知のタクシー。その歴史は約100年前にさかのぼるほど歴史深い仕事です。

イメージとしては、①暗い／態度が悪い、②仕事がキツイ、③給料が安い…だいたいこんなイメージだと思います。しかしながら、みなが皆必ずしもそうとは限りません。

ふるさと交通の多くの社員は、明るく／丁寧で、シフトや休みもほとんど自分で決められます。給料は働いた（傍楽）分だけもらえるので、自分でいくら欲しいのか計算して傍楽けば良いだけです。

ひとつ業界のタブーにふれてみましょう(笑)

タクシードライバーに良くありがちなのが、怠け癖のある人ほど「給料が安い」と言ってしまう傾向です。表現を変えれば、自分が怠慢している部分を、会社が給料保障してくれないから「給料が安い」と話しているようなものです。

タクシー乗務をする中で、安心安全運転、丁寧な接客、清楚な身だしなみなどをきちんとこなしていれば、「給料が安い」などという言葉は本来発せられることはないのです。なぜなら、上記のことをしっかりできている会社は、お客様も従業員もみんな日々笑顔で過ごしていますから、不満より感謝の心が育っているからです。

これは、ふるさと交通に限っての話ではなく、全国どこのタクシーにおいても実は同じことが言えます。当社、そして全国のドライバーには優秀なドライバーがたくさんおります。

次ページへつづく



タクシー・ハイヤー／バス事業と ふるさと交通



前ページのつづき

■ タクシー・ハイヤー事業

きちんと現場を見れば、前述の①②③は一部のタクシー会社のドライバーが話したことを、報道等で滑稽に書き下ろされた感が否めないのかな？なんて感じられます。

タクシー事業は、国の許認可事業なので、事業を運営する中でかなりの縛りがあります。縛りとは、「自由にできない」ということです。例えば、「運賃（料金）を自由に決めてはダメです」、「車両台数を勝手に増やしてはダメです」、「請負契約者などを乗務させてはダメです」・・・つと、まあこんな感じです。正直、非常にやりづらい事業です。

これほど、がんじ絡めの事業ではありますが、全国各地で活躍しているタクシー会社はたくさんあります。活躍している会社のほとんどは、地域で頭一つ飛び出しており、そのほとんどが会社独自の世界観の中で営業活動しております。

ネガティブな報道のみが目立つ業界ですが、実は開放的で明るく楽しい業界であるという事実を是非知って頂きたいと思います。



タクシー・ハイヤー／バス事業と ふるさと交通

■貸切バス事業

当社のバス事業は「貸切バス事業」です。バスも100年以上の歴史があります。

バス事業も国の許認可事業です。タクシー同様、事業を運営する中で縛りがありますが、タクシーほどやりづらい事業ではありません。

世間的には、あまりネガティブなイメージはないと思いますが、大きな車両で一度にたくさんのお客さんを輸送する特性上、ひとたび事故発生となると、重大事故につながる危険性があります。死傷者が多くなるので、大きく報道されることは必至です。

事故のほとんどは、運転の技術的なことではなく、精神的／意識的な不注意によるものです。気持ちにゆとりを持ち、ゆっくりと余裕のある運転をすれば、実はそれほど事故はおこらないものなのです。



【経営理念】と【社訓】

■経営理念（心の生産性を高めよう）

当社には「心の生産性を高めよう」という経営理念があります。これは、先代から引き継いだ当社の基本となる考え方です。

心の生産性とは？それを高めるとは？一体どういことなのか簡単に説明します・・・が、その前に、当社は旅客運送事業を主としておりますが、実質的にはサービス業と捉えておりますので、「サービス」の特性について確認してみたいと思います。

サービスとは以下のような特性があります。

- ①貯蔵できない
- ②固定的な形をなさない
- ③終わると消えてなくなる
- ④元に戻せない
- ⑤把握しにくい

※1

人は第一印象で判断され、極めて短い継続業務中では素養マナー等により判断されます。結局、旅客自動車におけるサービスとは『人』そのものの価値であり、サービスの利用者すなわち、お客様がサービスの価値を判断されるのはサービス提供者である『人』次第であると考えます。

旅客運送事業は製造業と違い、物質的な「モノ」を作り出すのではなく、A地点からB地点までの「移動空間」というサービスを作り出す事業です。故に、サービス提供後は、お客様の手元に残るモノが一切なく、残るのは「電話対応が良かったなあ～」とか「いい運転手さんだったなあ～」といった印象です。

※1 素養：ふだんの練習や学習によって身につけた技能や知識

次ページにつづく



【経営理念】と【社訓】



前ページのつづき

■心の生産性を高めようとは？

サービスを提供されたお客様の心には、最終的に印象／幸福感といった感情が心に残ります。もちろん悪い印象を残しても誰も喜びませんし楽しくありません。我々としては、お客様をはじめ、いつもあなたの傍にいる仕事仲間／友人／知人／家族にも楽しく喜んでもらえるよう毎日を過ごして欲しいと思っています。結果的には、それが良い印象という形に変化し自分に還ってきます。やがてそれは、みなさんの生活が潤う原動力となるでしょう。

では、生産性を高めるとはどういうことなのでしょう？

製造業を例に挙げると、1分間に10個モノを作るよりは、1分間に100個モノを作る方が生産性が高いといわれます。平たく言うと、時間内に多くのモノを作る方が生産性が高いということです。

心の生産性を高めるというのもこれとよく似ています。一人よりは二人に、二人よりは三人に。一回よりは二回、二回よりは三回相手に喜んでもらうということになります。もちろん数だけの問題ではなく、質の向上も同時に進化させることが必要でしょう。

以上のことから、心の生産性を高めようのイメージは次のようになります。

そば

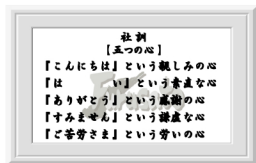
「傍（お客様や仲間）にいる人に楽しく喜んでもらいたい、という気持ちをよりたくさんの人の心に、より多く届けよう」。こんな感じになります。

我々は毎日たくさんの人と出会います。その一つ一つの出会いを大切に心して心の生産性を高めていければ、きっと納得のいく潤った人生を送ることができると思っています。

【経営理念】と【社訓】

■社訓（五つの心）

経営理念である「心の生産性を高めよう」を実践するためには一体何をすれば良いのか？その指針として、当社には【五つの心】という社訓があります。



我々の多くは、義務教育を強制される前に、両親家族、地域の人、幼稚園や保育園などでこの五つの心の大切さや使い方を学んでいるはずです。もう一度いいますが既に学んでいるのです。では、なぜ幼少期にこのことを教えるのでしょうか？

大人は社会で上手に生きていくためにはコミュニケーション（意思の疎通）能力が非常に大切だということを知っています。ですから、子供が社会に出た後、抵抗なくコミュニケーションがとれるようにと自然に教えて（教わって）いるのです。

我々は、人として当たり前のようにできるはずの、この「五つの心」を大人に成長するにしたがい、怠慢・偏見・自尊心・虚栄心などが邪魔をし、とても難しい事にしてしまっているのです。前述しましたが、我々は「五つの心」を知らないのではなく、あまりに生活が忙しかったために、ただ忘れてしまっただけなのです。

「心の生産性を高める」ためにも、まずはこの「五つの心」を思い出し、実践してみることが重要と考えています。

はたらく ふるさと交通で 傍楽 ために！

■ ふるさと交通で傍楽ために・・・

最後は表題のとおり「ふるさと交通で傍楽ために」…というか、ふるさと交通にむいている人はどんな人なのかをお伝えして締め括りたいと思います。たくさんありますが、最も大事な部分を一部記載します。

●【仕事は自分一人でやっているんじゃないんだ】と思える人

乗務員／オペレーター／事務員／整備者／管理者など、様々な部署で皆が違った仕事をしています。残念ながら人間ミスはつきものです。どれだけ否定されてもこの事実は覆すことはできません。

自分のミスは仲間にカバーしてもらい、仲間のミスは自分がカバーするような度胸と勇気のある人がむいています。自分ができない(やっていない)ことは常に誰かがやってくれているという想像力と感謝の心が必要となるでしょう。

●【すべてが自分の判断、そして誰の所為にもできない】という事実が理解できる人

「物事には本来善悪はない。ただ我々の考え方いかんで善と悪とが分かれる」←このような言葉があります。

人間は、どれだけ規則で縛っても、どれだけ罰を与えても、自分が正しいと思ったことや「やりたい」と思ったことしかやりません。逆をいえば、「やってはいけないよ」ということでも平気でやってしまいます。皆さんも心当たりがあるのではないのでしょうか？

では、なぜそうしてしまうのでしょうか？これは、すべて自分の善悪の基準で物事を判断し行動してしまうからです。

次ページへつづく



はたらく ふるさと交通で 傍楽 ために！

■ ふるさと交通で傍楽ために・・・



前ページのつづき

たとえ他人からの強制であっても、最終的な判断は自分の善悪に基づいて下しています。全ての判断は自らが下しているのであれば、全ての結果は己の理屈でしかありません。その事実を知れば、他人の所為にできることなど何一つないことが理解できます。

ふるさと交通では、「稼げ!」とか「もっと売上を上げろ!」なんて一切言いません。当社の給与システムは、その人の稼ぎが直接給料に反映するシステムになっているので、稼ぎ方はその人自身が決めています。その人が「これくらい傍楽いて、これくらい欲しいんだ」という思いを尊重しているので、決して「稼げ!」とは言わないのです。

ひとつひとつの仕事をこなすのは自分なんだ! という強い思いで仕事に取り組む人がむいていると思います。

●【心の生産性】【五つの心】が理解できる人

これが一番大事なのかも! 理解できる人はかなりむいています。

経営理念

「心の生産性を高めよう」

社訓

【五つの心】

「こんにちは」という親しみの心
「はい」という素直な心
「ありがとう」という感謝の心
「すみません」という謙虚な心
「ご苦労さま」という労いの心

おわりに・・・

以上が、ふるさと交通の求職者マニュアルの内容です。

詳しく記載すると40～50ページになるので、だいが端折って作りました。
なんとなく感じは掴めたのではないかと思います。

現在、ふるさと交通のタクシー・ハイヤー営業圏は、盛岡市／滝沢市／矢巾町をひとつの商圈とする盛岡交通圏、貸切バスの営業圏は岩手県全域、旅行業は国内旅行、車両運行管理は国内全域となっております。会社の理念や考え方を簡単に説明しましたが、勤務体系は？休みは？給料は？などの質問もたくさんあると思います。詳しい事はとても書ききれませんので、どうぞお気軽にお問合せ頂ければと思います。 ※ 業界関係者に聞けばすぐわかりますが、タクシー業界での給料はトップクラスだったりします！

「楽しく傍楽きたいから、何かおもしろい事したいなあ…」と常に考えながら事業運営をしています。人生なめてかかっているわけではなく、皆が、そして自分自身も楽しむために、時には真剣にふざけたりバカを演じたりしています。

上記のようなふるさと交通ですが、興味が湧いたという方は是非ともご一報頂きたいと思います。

社員一同心よりお待ちしております。

株式会社 ふるさと交通

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森16-23

求人用Tel 019-601-2032

求人Eメール info@furusato-recruit.com

ホームページ <http://www.furusato-kotsu.com/>

担当：本社営業所長 高屋敷



ふるさと交通 で 検索